

金城ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告

第71号

令和元年8月5日
発行者 金城善英
住所 名護市大中1-15-19 203
Tel 0980-54-1259
E-mail yoshihide@woody.ocn.ne.jp



ごあいさつ

夏本番となりました。新元号「令和」になって、初めての「ヨシヒデだより」です。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

6月定例会を挟み、4月の衆議院補欠選挙（沖縄3区）、7月の参議院選挙が行われ、公明党公認の河野義博（比例区）は、2期目に当選いたしました。ご支持ご支援いただきました皆様、連日連夜の寝食忘れてのご支援の賜物です。一方で公明党が推薦した自民党公認候補は残念な結果となりました。捲土重来を期待いたします。

これまで何度も取り上げてきた名護市独自の給付型奨学金の募集が始まりました。応募期間は9月13日までとなっております。詳しくは、名護

市広報「市民のひろば」8月号や名護市ホームページをご覧ください。皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

議会報告



金城善英 HP

第195回名護市定例会（6月定例会）は、令和元年6月13日から7月2日までの会期で行われました。名護市一般会計補正予算（第1号）を含む市長提出議案9件、報告8件、同意1件、先議案件の意見書案2件と決議案2件、また、追加議案として市長提出議案1件、議員提出議案1件、意見書案3件、決議案2件が審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第122号（9月初め配布）の議案処理結果一覧をご覧ください。

6月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、子育て支援について

質問（一）子どもの居場所づくりについて

虐待や交通事故による被害、通り魔事件など、幼い子どもたちに降りかかる痛ましい事件、事故が続いています。子どもは地域社会の大切な宝として見守り、育んでいける環境をつくるために、ア、児童センターの老朽化、イ、子ども

も食堂の取り組み状況と支援員の確保や保険加入、フードバンクの運営状況

答弁 ア、引き続き修繕などを加えながら、新館建設に向けた取り組みを検討する。イ、平成28年度より、子どもいちは食堂委員会に委託をし、市営市場にて毎週土曜日に子ども食堂を実施してきました。けがや事故に備えて傷害保険や賠償責任保険にも加入している。ウ、生活支援課で食材等の提供者と子どもの居場所のニーズを取りまとめてつなげていく

二、教育費負担の軽減について

質問（一）名護市独自の給付型奨学金の創設について

経済的な理由で進学を諦めることなく、大学や専門学校などの高等教育が受けられる給付型奨学金の創設に大きな期待が寄せられています。そこで、ア、実施に向けての取り組み状況、イ、入学支度金について

答弁 ア、制度設計を完了し、令和2年度給付に向けて今年より事業の周知を各高等学校に行う。イ、名護市育英会の入学準備金制度（30～50万円の貸与）を活用していただきたい

三、医療・福祉の整備拡充について

質問（一）北部基幹病院の早期整備について

今年4月から5月にかけて、公明党沖縄県本部と北部基幹病院の整備を求める住民の会で実施した「離島・過疎を含む北部地域に住民の命と健康を守る基幹病院の早期整備を求める」署名活動で集まった2万2,319名分の署名を5月15日に厚生労働省の大口善徳副大臣へ届けてまいりました。その際に、病院設立にかかる費用の3分の2を国が負担する「地域医療介護総合確保基金」が活用できるとし、残り3分の1を普通交付税措置で地元負担はないとのことでありました。そこで、

(1面からつづく)

ア、本市の北部基幹病院の早期整備へ向けての取り組み イ、設立にかかる見込み費用総額 ウ、合意締結までの課題

答弁 ア、本年1月29日に第6回の基幹病院の基本的枠組みに関する協議が開催されたのを最後に特段の進展がない状況 イ、合意書案を踏まえたものを試算中であり、現時点では答弁できない ウ、設置主体や市町村の財政負担などさらなる協議が必要。議員指摘の「地域医療介護総合確保基金」の活用を含めて県に説明を求めていく

質問(2) 小規模ケアハウスの施設整備について
今年度施設方針で示されている「比較的低額な料金で入所できる施設整備」について

答弁 整備予定法人の社会福祉法人名護学院より、今年度補助事業を辞退したい旨示された。

四、防災行政について

質問(1) 沖縄観光防災力強化支援事業について

本市を訪れる観光客に対する災害時の支援として、新たな対応策として今定例会に補正予算の提案があります。ア、事業概要・目的・備蓄計画 イ、乳幼児のための液体ミルクや女性、障がい者、高齢者の避難生活への配慮 ウ、名護市火葬場など長時間の停電に対応できる大型発電機の整備

答弁 ア、大規模災害等で市内に足止めされる観光客に対して提供する物資の備蓄を行うなど、沖縄の観光振興に資することを目的とし、防災備蓄用倉庫や非常用発電機の整備を行う イ、液体ミルクについては、賞味期限が短いことから、イオン琉球(株)と平成21年12月4日に締結した「災害時における防災活動協力に関する協定」により対応したい。要配慮者等を収容できる福祉避難所の指定に向け、福祉施設と協定締結を進めたい ウ、この事業での整備は厳しいとのこと。今後の対策として、現在の施設

を発電機等の外部電源と接続できるように改修したり、新たな火葬場建設を計画する際には、自家発電できる設備を整備したい

五、健康のまちづくりについて

質問(1) パークゴルフ場の整備

答弁 田井等公園2工区の整備において、区と調整を進めながら地域へのアンケートに基づき18ホールを計画している。

質問(2) トレーニングジムの充実

答弁 21世紀の森体育館のトレーニング機器の老朽化については、一斉点検の結果を踏まえて機器の維持修繕に努める。

質問(3) 相撲場を含む武道館建設

答弁 引き続き空手、剣道、および相撲競技の関係者と意見交換を行い、武道館建設に向けて調査を実施したい。

質問(4) 市内公園の遊具や健康運動器具の設置

答弁 地元の意向を踏まえ対応したい。

六、経済・産業振興、市街地活性化について

質問(1) 名護湾沿岸基本構想策定事業の進捗状況

答弁 現在、構想策定に係る有識者懇談会の開催に向けた準備を行っている状況です。

質問(2) 旧消防署跡地活用の進捗状況

答弁 公募型のプロポーザルを実施し、優先交渉権者と6月11日に仮契約を締結しています。

質問(3) 今年10月1日予定の消費税率の引き上げに伴う影響緩和の対策としてプレミアム付商品券事業の取り組み

答弁 住民税非課税世帯や3歳未満の子育て世帯を対象に、最大2万5千円の商品券を2万円で購入でき、令和2年3月15日まで使用可。

質問(4) 名護市営市場の指定管理者「一般社団法人」資源活用管理協会が実施する(中心市街地域

七、北部振興について

質問(1) 沖縄自動車道許田料金所付近の駐車場のトイレの増設

答弁 関係機関との調整や要望を行っていく。

質問(2) 北部への空港整備

答弁 北部全体の活性化につながる。

質問(3) 北部地域のバス路線の拠点である名護バスターミナルの再整備と北部地域のバス停の位置や上屋、椅子の整備

答弁 バス事業者、地権者、道路管理者、警察署などとの協議が必要と認識しております。

限定の) 名護まちなか商品券事業への支援
答弁 本市は共催者として名護市商工会及び名護市観光協会と連携し周知・広報等の支援を行う。
質問(5) 沖縄コーヒード豆の特産物への可能性
答弁 気象条件は厳しいが相談の上、支援を行う。



大宮小学校へ続く通学路への安全標示の看板を設置! 2019・7

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか?
日刊(1ヶ月1,887円/税込)
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259